

平成31年度から令和3年度までの実施施策に係る政策評価書

(防衛省31～3-②)

施策名	国際平和協力活動等					
施策の概要	<p>国際平和協力活動等については、平和安全法制も踏まえ、派遣の意義、派遣先国の情勢、我が国との政治・経済的關係等を総合的に勘案しながら、主体的に推進する。特に、これまでに蓄積した経験をいかしつつ、現地ミッション司令部要員等の派遣、工兵マニュアルの普及、我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を積極的に推進する。また、平和安全法制を踏まえた任務に対応する教育訓練を推進するとともに、陸上自衛隊において、中央即応連隊及び国際活動教育隊の統合による、高い即応性及び施設分野や無人機運用等の高い技術力を有する国際活動部隊の新編に向け、必要な措置を講ずる。</p> <p>国際平和協力センターにおける教育内容を拡充するとともに、国際平和協力活動等における関係府省や諸外国、非政府組織等との連携・協力の重要性を踏まえ、同センターにおける教育対象者を自衛隊員以外に拡大する等、教育面での連携の充実を図る。</p> <p>なお、ジブチ共和国において海賊対処のために運営している自衛隊の活動拠点について、地域における安全保障協力等のための長期的・安定的な活用に向け取り組む。</p>					
達成すべき目標	<p>①国際平和協力センターにおける教育内容を拡充するとともに、同センターにおける教育対象者を自衛隊員以外に拡大する等、教育面での連携の充実</p> <p>②現地ミッション司令部要員等の派遣、工兵マニュアルの普及、我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を積極的に推進</p>					
施策の予算額・執行額等	区分	平成31年度	令和2年度	3年度	4年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	0	0	0	0
		補正予算(b)	<1,244,622>	<1,224,504>	<1,290,698>	<1,230,780>
		繰越し等(c)		0	0	
		合計(a+b+c)		<129,068>	<311,997>	
	執行額(百万円)		0	0		
		<1,278,234>	<1,613,464>			

※ 下段()外書きは、複数の政策にまたがる予算及び複数の政策にまたがると整理できる予算であり、総額の「内数」で掲記している。
 ※ 令和2年度に現政策体系に応じた予算の組み替えを実施済であるため、平成31年度については予算額のみ記載している。

施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	<p>中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)</p> <p>Ⅲ-5-(5)国際平和協力活動等</p>
-----------------------------------	---

測定指標	1. 関係各国や関係機関と連携、より主導的な役割を果たすこと		
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績 国際平和協力センターによる教育の実施に当たっては、国連スタンダードのカリキュラムを教授できる外国人講師や非政府組織の代表者等を招へいして多様な視点から専門的な知見を得た。</p> <p>●令和2年度の実績 実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により、関係各国からの講師の招へい等は実施せず。)</p> <p>●令和3年度の実績 実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により、関係各国からの講師の招へい等は実施せず。)</p>	国際平和協力センターにおける教育内容の拡充	③
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績 国際平和協力センターが主催する以下の課程に外国軍人と関係府省職員を受入れ、教育を実施した。 ・第8期国際平和協力上級課程(7月):タイ軍人1名、インド軍人1名、ドイツ軍人1名、オーストラリア軍人1名、カナダ軍人1名、メキシコ軍人1名、スペイン軍人1名、スリランカ軍人1名、エチオピア軍人2名、ヨルダン軍人1名、内閣府職員1名及び外務省職員2名 ・第8期国際平和協力中級課程(1～2月):タイ軍人1名、パキスタン軍人1名、ドイツ軍人1名、カタール軍人1名、スリランカ軍人1名、イタリア軍人1名、南アフリカ軍人1名、内閣府職員2名及び外務省職員1名</p> <p>●令和2年度の実績 実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により、上級課程を中止、中級課程は特別課程として防衛省職員にのみ実施した。)</p> <p>●令和3年度の実績 実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により、上級課程を中止、中級課程は特別課程として防衛省職員にのみ実施した。)</p>	国際平和協力センターにおける教育面での連携の充実	③	

2. 平和安全法制も踏まえ、派遣の意義、派遣先国の情勢、我が国との政治・経済的關係等を総合的に勘案しながら、主体的に推進

測定指標

施策の進捗状況(実績)	目標	達成
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)への派遣 UNMISSへの司令部要員派遣は、6か国と国境を接する南スーダンの平和と安定のみならず、アフリカ全体の平和と安定にも寄与するものであり、我が国の「積極的平和主義」の実践の具体例の1つである。人材育成の機会の確保や国連・関係諸国との連携の観点からも、引き続き、UNMISS司令部に要員を派遣する意義があると考えており、UNMISS司令部要員4名の派遣を継続している。 ・多国籍部隊・監視団(MFO)への派遣 MFOは、昭和57年よりエジプトのシナイ半島で、エジプトとイスラエルとの間の停戦監視活動や両国間の信頼醸成の促進を支援することにより、我が国の「平和と繁栄の土台」である中東の平和と安定に貢献してきた。このMFOへの司令部要員派遣は、我が国の「積極的平和主義」に基づく具体例の一つである。人材育成の機会の確保や米国等の要員派遣国12か国との連携の促進の観点からも、引き続き、MFO司令部に要員を派遣する意義があると考えており、MFO司令部要員2名を派遣している。 <p>●令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)への派遣 UNMISSへの司令部要員派遣は、6か国と国境を接する南スーダンの平和と安定のみならず、アフリカ全体の平和と安定にも寄与するものであり、我が国の「積極的平和主義」の実践の具体例の1つである。人材育成の機会の確保や国連・関係諸国との連携の観点からも、引き続き、UNMISS司令部に要員を派遣する意義があると考えており、UNMISS司令部要員4名の派遣を継続している。 ・多国籍部隊・監視団(MFO)への派遣 MFOは、昭和57年よりエジプトのシナイ半島で、エジプトとイスラエルとの間の停戦監視活動や両国間の信頼醸成の促進を支援することにより、我が国の「平和と繁栄の土台」である中東の平和と安定に貢献してきた。このMFOへの司令部要員派遣は、我が国の「積極的平和主義」に基づく具体例の一つである。人材育成の機会の確保や米国等の要員派遣国12か国との連携の促進の観点からも、引き続き、MFO司令部に要員を派遣する意義があると考えており、MFO司令部要員2名を派遣している。 <p>●令和3年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)への派遣 UNMISSへの司令部要員派遣は、6か国と国境を接する南スーダンの平和と安定のみならず、アフリカ全体の平和と安定にも寄与するものであり、現在、我が国が要員を派遣する唯一の国連PKOである。人材育成の機会の確保や国連・関係諸国との連携の観点からも、引き続き、UNMISS司令部に要員を派遣する意義があると考えており、UNMISS司令部要員4名の派遣を継続している。 ・多国籍部隊・監視団(MFO)への派遣 MFOは、昭和57年よりエジプトのシナイ半島で、エジプトとイスラエルとの間の停戦監視活動や両国間の信頼醸成の促進を支援することにより、我が国の「平和と繁栄の土台」である中東の平和と安定に貢献してきた。人材育成の機会の確保や米国等の要員派遣国12か国との連携の促進の観点からも、引き続き、MFO司令部に要員を派遣する意義があると考えており、MFO司令部要員2名を派遣している。 	<p>現地ミッション司令部要員等の派遣を推進</p>	<p>③</p>
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力構築支援 <カンボジア> PKO(施設)に関する技術指導・人材育成 <モンゴル> PKO(施設)に係る道路構築教育への教育補佐・指導及び道路構築実習への教育補佐・指導 <p>・PKO訓練センターへの講師等派遣 アフリカの平和と安定は国際社会の平和と安定に資するという考えの下、アフリカ諸国の平和維持活動における自助努力を支援するため、アフリカを中心に依頼に応じて、PKO要員の教育訓練を行う各国PKOセンター等に自衛官を講師として派遣している。平成31年度においては、エチオピアのPKOセンターにおいて延べ3回講師派遣を実施した。</p> <p>・国連三角パートナーシップ・プログラム(施設・医療) 平成26年9月、PKOが直面している課題を解決するため、国連本部においてPKOハイレベル会合が開催された。我が国は、国連の主要課題の一つである、アフリカを中心とするPKOミッションの早期展開能力の強化を支援するため、国連にある信託基金を活用し、重機等の装備品供与と各国要員への操作教育をパッケージで行っていく旨を表明した。令和元年6月～8月及び8～11月には、アフリカでの第7回及び第8回訓練をそれぞれケニア及びウガンダで実施した。2回目の訓練で女性自衛官6名を含む自衛隊員計45名を派遣し、ウガンダの国軍要員計66名を対象とした重機操作教育を実施した。</p> <p>また、令和元年11月～12月及び令和2年2月～3月にそれぞれ第1回及び第2回となるアジア及び同周辺地域での訓練をベトナムで実施した。2回の訓練で女性自衛官5名を含む自衛官計47名を派遣し、ブータン、カンボジア、インドネシア、ネパール及びベトナムの国軍要員計40名を対象とした重機操作教育を実施した。また、国連は、新たに医療分野における野外衛生救護補助員コースを実施する方針を定めたところ、令和元年8月に国連が実施した事前ワークショップに、我が国は自衛官(医官)1名を派遣し、同コースのマニュアル策定に貢献した。また、令和元年10月に実施された同コース試行訓練において、自衛官(医官)2名を教官として派遣した。</p> <p>●令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力構築支援 <カンボジア> PKO(施設)に関する道路測量技術に関する講義・実習 <p>・PKO訓練センターへの講師等派遣: 実績なし(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>・国連三角パートナーシップ・プログラム(施設・医療): 実績なし(ケニア及びインドネシアにおける重機操作訓練、並びに野外衛生救護補助員コース第2回試行訓練を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期)</p>	<p>我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を実施</p>	<p>③</p>

測定指標	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度の実績 ・能力構築支援 ＜モンゴル＞ PKO(施設)に関する道路構築実習等技術支援 ＜ベトナム＞ 国軍PKO派遣準備支援 <ul style="list-style-type: none"> ・PKO訓練センターへの講師等派遣 令和4年3月、エチオピアのPKOセンターへの講師派遣を再開した。 <ul style="list-style-type: none"> ・国連三角パートナーシップ・プログラム(施設) 令和4年1月～3月、第9回となるアフリカ地域での訓練をケニアで実施し、女性自衛官3名を含む自衛官20名を派遣。ガーナ、ウガンダ及びケニアのPKO要員計35名を対象とした重機操作教育を実施した。 	(続き)我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を実施	③
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度の主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成31年度の実績 平成31年度を通じ、次の2回の活動により国際社会の平和及び安全の維持に取り組んだ。 ①ジブチ共和国における大雨及び洪水被害に関して令和元年11月～12月の期間で、排水作業等及び車両による物資輸送を実施した。 ②オーストラリア連邦で発生した森林火災に関して令和2年1月～2月の期間で、航空輸送を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度の実績 実績なし <ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度の実績 令和3年度を通じ、次の活動により国際社会の平和及び安全の維持に取り組んだ。 トンガ王国における火山島の噴火による被害に関して、令和4年1月～2月の期間で航空輸送等を実施した。 	国際緊急援助活動への積極的な取り組み	③
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
<p>【平成31年度から令和3年度の主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成31年度の実績 平成27年に策定された国連工兵部隊マニュアルを改訂するため、平成30年に国連から日本に対して再度議長国を務め、改定作業を実施してほしいとの要請があった。工兵マニュアルの改訂は、国連PKOに対する知的貢献であり、改定作業を通じて各国の意見が得られる等、自衛隊にとっても意義を有することから、議長国を受諾し、改定作業を主導した。作業を終え、令和元年7月に陸幕長よりラクロウ国連平和活動局長に同マニュアルの改訂ドラフト案を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度の実績 実績なし(日本が引き続き議長国となり工兵マニュアル訓練用教材(STM)策定ワーキンググループの開催を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期) <ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度の実績 令和3年4月から12月にかけて、日本が引き続き議長国となり工兵マニュアル訓練用教材(STM)策定ワーキンググループを開催した。 	工兵マニュアルの策定・普及に向けた取組	③	

目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ③相当程度進展あり
	<p>(判断根拠)</p> <p>〈測定指標1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際平和協力センターにおける教育内容の拡充として、国連スタンダードのカリキュラムを教授できる外国人講師や非政府組織の代表者等を招へいし、多様な視点から専門的な知見を得る等、目標に向かって着実に進展している。 <p>〈測定指標2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現地ミッション司令部要員等の派遣を推進として、国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)及び多国籍部隊・監視団(MFO)への司令部要員の派遣を実施する等、目標に向かって着実に進展している。 <p>以上のことから、相当程度進展ありと判断した。</p>

評価結果	施策の分析	<p><測定指標1> ●各目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ※()書きは目標 (国際平和協力センターにおける教育内容の拡充) ・国連スタンダードのカリキュラムを教授できる外国人講師や非政府組織の代表者等の招へいによる多様な視点からの専門的な知見の獲得 (国際平和協力センターにおける教育面での連携の充実) ・国際平和協力センターが主催する国際平和協力上級課程等への外国軍人と関係府省職員の受入れや教育の実施</p> <p><測定指標2> ●各目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ※()書きは目標 (現地ミッション司令部要員等の派遣を推進) ・平和安全法制の制定により従来から継続的に派遣していた国連南スーダン共和国ミッションへの司令部要員に加えた多国籍部隊・監視団への司令部要員の派遣が可能となったことに伴う平成31年からの派遣の開始等 (我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を実施) ・カンボジアへの能力構築支援、PKO要員の教育訓練を行うPKO訓練センターへの講師派遣、重機等の装備品供与と操作教育の実施や野外衛生救護補助員コースに教官を派遣した国連三角パートナーシップ・プログラム(施設・医療)等の実施 (国際緊急援助活動への積極的な取組み) ・国際社会の平和及び安全の維持の実現という目的によるジブチ共和国における大雨及び洪水被害、オーストラリアで発生した森林火災及びトンガ王国における火山島の噴火による被害に関する国際緊急援助活動への積極的な取り組み (工兵マニュアルの策定・普及に向けた取組み) ・継続して議長国を務めることによる積極的な工兵マニュアルの策定の推進</p>
	次期目標等への反映の方向性	<p>①国際平和協力センターにおける教育内容を拡充するとともに、同センターにおける教育対象者を自衛隊員以外に拡大する等、教育面での連携の充実 国際平和協力センターが主催する課程に関係府省職員を受け入れた教育の実施や教育内容の拡充等、引き続き、国際平和協力センターにおける教育の充実に取り組んでいく。</p> <p>②現地ミッション司令部要員等の派遣、工兵マニュアルの普及、我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動を積極的に推進 国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)への派遣、PKO訓練センターへの講師等派遣や国連三角パートナーシップ・プログラム(施設)における重機操作教育の実施等、引き続き、我が国が得意とする分野における能力構築支援等の活動に取り組んでいく。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	施策は順調に進展しており、特に意見なし。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	○ 防衛省ホームページ ○ 防衛白書(令和元年～3年) ○ 我が国の防衛と予算(平成31年～令和3年)

担当部局名	防衛政策局、人事教育局及び統合幕僚監部	政策評価実施時期	令和4年6月
-------	---------------------	----------	--------

※ 「測定指標の達成欄」及び「評価結果」の「(各行政機関共通区分)欄」については、達成状況を以下の5段階区分の数字を記入。

①目標超過達成、②目標達成、③相当程度進展あり、④進展が大きくない、⑤目標に向かっていない